

スナップエンドウ出荷最盛



JA管内で1月下旬、令和3年度産スナップエンドウの出荷がピークを迎えています。

JAの集荷所には連日約5トが集荷され、出荷作業に追われています。

9月下旬の干ばつで一部の圃場で生育遅れが見られましたが、その後は天候に恵まれ生育良好となりました。今期は、23鈴で栽培し生産量は375トを見込んでいます。



農家の増頭を支援



JA家畜市場で2月10日、令和3年度4回目の育成牛払下げを行いました。

管内の和牛繁殖農家の増頭を支援し、子牛産地としての繁殖基盤の維持・拡大を図るため、年4回開催しています。今回の払下げでは15頭が取り引きされ、最高価格131万5千円、平均価格108万3千円となりました。



高品質のタンカン出荷最盛



JA管内で2月中旬、タンカンの出荷がピークを迎えています。

今期は、台風等の気象災害も少なく、生育は良好となりました。

JA管内では、61鈴で栽培し、生産量は540トを見込んでいます。集荷されたタンカンは、くみあい食品やJA直売所のほんたん館、Aコープなどで販売されています。



種子島高校の生徒が製造



JA家畜市場で開かれた2月子牛せり市で、種子島高校の生徒が製造した農産物加工品や栽培した野菜などの出張販売が行われました。

出張販売では、トマトやタンカン、イチゴが原材料のジヤムやドレッシング、オリジナルみそ、野菜や花などが販売され、せり市に訪れた生産者らで賑わいを見せました。

